

各地の学習会たより

連続研修を積み重ねてきました（長野）

【第2回】

第33回GWT全国大会の開催を控え、長野支部はGWTに対する感度をさらに高めることを目指して連続研修会を企画し、8月30日に第2回目を開催しました。

犬飼会員から財「スポーツ指導者に望ましい資質」が、小澤会員から財「じぶんだけのいろ」が提供されました。犬飼会員の財は、スポーツを得意とする私にとっては「楽勝」と思いきや、提示された資質すべてが重要で苦戦を強いられました。小澤会員の財では、「他者から見た自分」と「自分が感じている自分」のギャップを感じながらも、「他者から見た自分」を受け入れ、磨いていこうと勇気をいただきました。（新井）



【第4回】

2026年1月開催の『GWT全国研修交流会 in 松本』を翌年に控え、2025年6月にスタートした「長野支部 連続研修」全4回を、11月29日(土)に予定通り終わりました。

毎回開くたびに“GWTは初めて”という参加者を交え、参加者総数は45名となり、全国研修交流会を迎える熱気が高まってきました。この日の松本城は、全国の皆様のお越しを歓迎するかのように澄んだ空気の中、アルプスを背に最高の顔を見せてくれていました。（犬飼）

今年度も開催！GWT講座（福井）

福井支部では、‘GWT講座’を昨年同様3回開催し、最終回の12月6日(土)は「ホスピタリティ溢れるコミュニケーション」をテーマに午後2時間開催しました。今回は久しぶりに参加の会員を含めて6名が熱気ある討議を行いました。

体験1の「ホスピタリティを考える」は、背中合わせの二人組が「こんにちは」の合図で、いかに同じ方向を見ることができるかの体験から、相手の想いを考えることの大切さに気づくことができました。

体験2の「レインボー会議」では、自己主張、非難・反論、受容のプロセスを体験して、相手の意見を受け取めながらも自己主張して、課題解決に向けて一致点を見つけるための話し合いをする大切さに気づくことができました。

今年度は毎回、初めましての方が参加され、次年度に続く福井支部活動となりました。（大久保）



研究誌廃刊のお知らせ

日本GWT協会では、毎年研究誌を発行してまいりましたが、事業の見直しにより、冊子での研究誌を廃止し、今後は、GWT研究や新財をホームページで発表することといたしました。

これにより、研究誌第20号が最後の発刊となります。

20年間に渡り多くの皆様にご寄稿、ご愛読いただき、心よりお礼申し上げます。